

に。生死をかけた開腹手術と2度にわたる輸血を行ないました。長期間の点滴の為、「ハチ」の四肢の血管は針がさせなくなっていました。そんな5月も半ばを過ぎた頃、「ハチ」はようやく回復のきざしを見せ始めたのです。ボロ雑巾のようになって横たわっていた体に力強い生気がよみがえって来たのです。6月20日には体力も充分となり、折れていたアゴの骨の整形手術をしました。やがんでいたフチが正常になり^{もイデ}、とてもハンサムになりました。そして7月8日とうとう3ヵ月ぶりに元気に退院することができたのです。

今、「ハチ」は我が家の家族の一員として暮らしています。何度も生命の危機を克服して来た「ハチ」の健気な生命力は私達に素直な感動と共感を与えてくれました。

終わりに、すばらしい治療と看護として下さった田村先生ご夫妻、甲斐さん、あたたかい励ましのお心で見守っていただいたオリバー先生、寺中さんご夫妻、「ハチ」を応援し